令和７年度結核予防技術者地区別講習会（東北地区）実施要領

１　目　　的

結核予防事業に従事している技術者に対して、結核対策に必要な最新の知識と技術の習得の機会を提供するとともに、新しい施策の周知を図ることを目的に開催する。

２　開催月日

令和７年８月２１日（木）～２２日（金）

３　場　　所

ホテル青森

所在地：〒030-0812　青森市堤町 1-1-23

電　話：017-775-4141

４　日程および内容

別紙プログラムのとおり

５　受講対象者

（１）東北各県、政令市、中核市の保健所および市町村等に勤務する医師、診療放射線技師、保健師、看護師、その他の者

（２）感染症診査協議会委員および医療機関に勤務する医師・看護師、その他の者

（３）集団健診及び結核接触者健康診断等を行っている委託医療機関に勤務する医師、診療放射線技師、保健師、看護師、その他の者

（４）結核対策に関わる医師、診療放射線技師、保健師、看護師、その他の者（高齢者施設職員，学校保健関係者等）

６　受講料

無料

７　申込方法

下記 URL 及び右記二次元コードより申込むものとする。

https://apply.e-tumo.jp/pref-aomori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=17548

８　事務局

青森県健康医療福祉部保健衛生課感染症対策グループ

所在地：青森県青森市長島 1-1-1

電　話：017-734-9141　ＦＡＸ：017-734-8047

メール：hoken@pref.aomori.lg.jp

９　取得可能単位

受講により下記の単位が取得可能です。詳細は学会等にお問合せください。

（１）　日本結核・非結核性抗酸菌症学会
「結核・抗酸菌症認定医・指導医認定制度」更新時必要ポイント

（２）　日本結核・非結核性抗酸菌症学会
「抗酸菌症エキスパート制度」新規、更新時必要ポイント

（３）　日本医師会（申請中）
「日医生涯教育制度」のカリキュラムコード７（医療の質と安全）2.0 単位

※修了証の配布について

・（１）・（３）については、８月２１日（木）「臨床講義」の受講後

・（２）については、８月２２日（金）「結核患者の支援の基本講義」の受講後

１０　その他

（１）昼食は会場内や周辺にレストラン等がありますのでご利用ください。

（２）会場の駐車場には限りがありますので、できる限り公共交通機関をご利用ください。

令和７年度結核予防技術者地区別講習会（東北地区）プログラム

日時：令和７年８月２１日（木）～８月２２日（金）
場所：ホテル青森

開催日	時間	会場	内容
８月２１日（木）	9:00～ 9:45	ロビー（３階）	受付
	9:45～ 9:50（5 分）	孔雀東南の間（３階）	【開会】あいさつ 青森県健康医療福祉部　部長　守川　義信
	9:50～11:50（120 分）	孔雀東南の間（３階）	【合同講義＜前編＞】 「結核の根絶に向けた結核対策の方向性 ―結核に係る特定感染症予防指針の改訂を含め―　」 結核予防会結核研究所　所長　加藤　誠也　氏
	休憩 70 分		
	13:00～14:00（60 分）	孔雀東南の間（３階）	【合同講義（厚生労働省）】 「最近の結核対策の動向を踏まえた今後について」 厚生労働省 健康・生活衛生局 感染症対策課 課長補佐　亀谷　航平　氏
	14:10～15:40（90 分）	孔雀東南の間（３階）	【結核対策特別推進事業等の報告・評価】 (1) 集団発生事例への対応について（仮） 青森県八戸市保健所 (2) 集団発生事例への対応について（仮） 福島県郡山市保健所 (3) 外国人の結核患者に対する入院生活と退院支援について（仮） 独立行政法人国立病院機構青森病院 副看護師長 對馬 直哉 氏
	16:00～17:30（90 分）	はまなすの間（３階）	【結核行政担当者会議】（県・市・本庁担当者）
	18:00～20:00（120 分）	孔雀東南の間（３階）	【臨床講義】 「結核の診断と治療のおさらいと最新情報」 結核予防会複十字病院　副院長　吉山　崇　氏
８月２２日（金）	9:30～10:00	ロビー（３階）	受付
	10:00～12:00（120 分）	孔雀東南の間（３階）	【合同講義＜後編＞】 「結核の根絶に向けた結核対策の方向性 ―結核に係る特定感染症予防指針の改訂を含め―　」 結核予防会結核研究所　所長　加藤　誠也　氏
	休憩 90 分		
	13:30～16:00（150 分）	孔雀東南の間（３階）	【結核患者支援の基本講義】 「結核における患者中心の服薬支援と地域を基盤とした支援の強化～増加する外国出生結核患者の支援の取組み～」 結核予防会　事業部長　永田　容子　氏

◆　講義内容　◆

○令和７年度 合同講義＜前編・後編＞　（結核研究所）

テーマ：結核根絶に向けた結核対策の方向性－結核に係る特定感染症予防指針改定を含め

講義の目的：

本邦における新登録結核患者は 10,096 人（結核罹患率人口 10 万人対 8.1［2023 年］）となり、前年の罹患率より 1.2%低下しました。しかしながら、2023 年は特に外国生まれ新登録結核患者数が増加、全年齢で 1696 人（16.8%）となり、とりわけ 20–29 歳の年齢階層に限ると外国生まれの割合は実に約 85%に達しました。2020–2021 年の間、COVID-19 の影響により外国人労働者の流入が減少したことから、外国生まれの結核患者の割合は一時減少しましたが、今後は増加することが見込まれます。

今年度は、結核対策技術者に必要な結核対策の基本や最新の疫学状況に加え、ここ数年の新たな結核対策の現状をご紹介し、上記に述べた課題を含め、低まん延状態の維持に向けた対策の課題を共有していきます。

講義内容：

1. 最近の結核の疫学状況（2023 年分）
2. 外国生まれの結核患者（入国前検診、患者帰国支援、入国後検診の方向性）
3. 患者発見の考え方
4. 最近の集団発生、あるいは特記すべき接触者検診等の経験
5. 結核治療の世界的趨勢，新薬の使用、医療基準の改正について
6. 病原体サーベイランス
7. 結核分子疫学調査手引、接触者健診の手引、集団発生調査の手引について
8. 結核対策に関する相談事業について
9. 結核低蔓延下における医療提供体制
10. 新技術の開発
11. 医療 DX への対応
12. 結核に係る特定感染症予防指針の改定に向けて

○令和７年度 合同講義（厚生労働省）

テーマ：最近の結核対策の動向を踏まえた今後について

講義内容：

2023 年、我が国における新登録結核患者数は 10,096 人、罹患率は 8.1 となり、2021 年以降、日本は結核低まん延国の水準を維持しています。現行の結核対策及び今後の方向性等をお話ししたいと考えております。

○令和７年度 臨床講義

テーマ：結核の診断と治療のおさらいと最新情報

講義の目的：

本邦の 2023 年の罹患率は前年比 0.1 減少し 8.1 となり罹患率低下の鈍化がみられています。結核患者数の減少のため結核の経験が減ったことに伴ってか、結核診療の専門家の減少が著しく、地域によっては結核診療の維持が困難になってきていると考えられる地域も増えてきています。このため、結核の臨床を学ぶ機会は限られております。結核が身近な疾患でなくなったため診断の遅れが起こり、それに伴う集団発生のニュースが散見されています。治療として INH と RFP が使えるようになれば、活動性結核の維持期の治療と LTBI 治療を担ってもらえるようになると考えています。本講では、結核の診断と治療の基本についておさらいし、加えて最新の知見を紹介し、結核の臨床への理解を深め、最終的には結核診療の一端を担える知識を習得していただきます。

講義内容：

・結核の診断の基礎・結核の治療の基礎（Xpert とコバス MTB-RIF/INH の活用を含む）

・INH と RFP の治療の実践

・結核の臨床に役立つ新たな知見

結核研究所で Deeplex は研究として受けている最近の論文など

○令和７年度 結核患者支援の基本講義

テーマ：結核における患者中心の服薬支援の基本と地域を基盤とした支援の強化～増加する外国出生結核患者支援への取組み～

講義の目的：

2023 年の統計によると日本の結核の罹患率は人口 10 万人対 8.1 となり低まん延国の水準を維持しています。一方、外国出生結核者は全体の 16%を占め増加傾向にあります。結核対策の基本は、患者を早期に発見し、感染拡大防止や服薬支援（LTBI を含む）による対策強化を実施することです。特に、多様な社会背景を持つ外国出生患者に対して、“患者中心のケアと予防”（patient-centered TB care and prevention）の実現を中心に据え、支援の「質の向上」と治療の徹底への「確実性」が求められます。この研修は、3 つの柱から構成されます。結核患者支援に必要な結核の基礎知識を再確認すること、結核の早期発見・発病予防・確実な治療の重要性を患者中心の視点から実際の支援に役立てることができること、地域の特性を生かした結核服薬支援体制を強化することを目的とします。特に、今後更なる増加が見込まれる外国出生結核患者に焦点を当てます。

講義内容：

１．結核の最新情報と基礎知識

結核患者支援に必要な結核の基礎知識

２．患者中心の支援と結核対策対応の実際 ～外国出生者への支援を中心に～

１）早期発見

２）初回面接の重要性

３）服薬環境を整えるための服薬継続リスク評価、治療の徹底（LTBI 含む）

４）医療・保健・福祉・関係機関等との多様な連携
（医療通訳者、医療ソーシャルワーカー、監理団体、高齢者施設、感染管理認定看護師等との連携）

５）接触者健診の実際と分子疫学調査との関連

３．地域の特徴を生かした結核支援体制の強化コホート
検討会の基本的な考え方と役割地域での啓発活動

４．資料紹介
「治療計画書」「患者と一緒に学べる質問票」2024 年度（8 言語対応）保健師・看護師向け教育教材「外国出生結核患者の支援」2023 年度
「介護職のあなたに知ってほしい 結核のこと」2022 年度結核服薬支援ツール（飲みきるミカタ）
禁煙支援指針（日本結核・非結核性抗酸菌症学会 HP）抗酸菌症エキスパート制度